



ノロウイルス検査受託内容

ここ最近、全国各地でノロウイルス感染による急性胃腸炎発症が広く報じられています。弊社にも本検査についてのお問い合わせを多く頂いておりますので、ノロウイルス検査受託内容についてご案内致します。

ノロウイルスは食品や手指、飛沫等を介して経口的に感染し嘔吐や下痢などの胃腸炎を引き起こします。また感染力も強いため集団発生を引き起こしやすい特徴があります。

◎このような場合は、検査をお勧めします（早期発見、対処が集団感染等のリスクを軽減させます）。

- 下痢・吐き気・発熱・嘔吐などの胃腸炎症状が認められる。
- 発熱や咽頭痛のような風邪に似た症状が認められる。
- 家で子供が嘔吐・下痢等の胃腸炎症状を呈している。
- 食品関連を扱う仕事をしているので気になっている。

★受託要領

ノロウイルス RNA

| | |
|-------|----------------------|
| 依頼コード | 0375 |
| 検体必要量 | 糞便-小指頭大 液状便-1~2ml |
| 検体の保存 | 絶対凍結(単独依頼) |
| 測定方法 | リアルタイム RT-PCR 法 |
| 基準値 | (-) |
| 報告日数 | 3~6日 |
| 採取容器 | F-9 |

ノロウイルス抗原/EIA

| | |
|-------|---------|
| 依頼コード | 1218 |
| 検体必要量 | 液状便、固形便 |
| 検体の保存 | 絶対凍結 |
| 測定方法 | EIA 法 |
| 基準値 | (-) |
| 報告日数 | 2~5日 |
| 採取容器 | F-1 |